

常盤台便り

Letter from the Residential Tokiwadai

第136号 2023年7月15日

夏の始まりのメロディー

～ SOMETHING コンサート～



SOMETHING
サムシング
～レジデンシャル常盤台～
2023年6月18日(日)
14:15～15:00

プログラム

- I 新ぼら合唱隊 舟 社説 中野色
- II いっしょに歌いましょう
歌は笑顔 笑顔は心
- III 和歌山ゆき子 ヨロイ 227の歌
朗読



マルシェだけでなく、施設全体に美しい歌声が響き渡り、ひと時の癒しをいただきました。

懐かしの思い出ハーモニー

～あじさいコンサート～



たんぽぽの会
フレンドハーモニー
あじさいコンサート
2023/6/21
レジデンシャル常盤台



第21回 かながわ高齢者福祉研究大会

3年ぶりのパシフィコ横浜で開催されました。



広報委員会
「10周年への想い」

栄養食事委員会
「常盤台に
ミシュランシェフ来たる!!!」

SGK委員会
「改めましてSGK委員会です」

行事委員会
「ピアガーデン常盤台」



人前で久しぶりの発表でしたが、良い緊張感のもと発表することができました。

Only One

誰にでも、大切にしている“物”や“思い出”
“人” etc があると思います。このコーナーでは
そんな人の“Only One”をご紹介します!

山田昌子さまの Only One

(山田)「私の夫は今入院中で、口から食事が摂れなくなって胃ろうを造りました。
この施設に帰ってくることはできますか？」

約22年前東京の公立施設で開かれた家族懇談会の冒頭のこの質問で
会場がザワッと動きました。

質問されたのは、今号の anyone に登場される山田昌子様でした。

数年間の自宅での介護を経て入居されたご主人はやがて誤嚥性肺炎で入退院を繰り返すようになり、
主治医から、これ以上口から食事を摂るのは難しいと告げられ、胃ろうを造ることになりました。

(山)「胃ろうを造ってから状態が安定したので施設に戻ろうと連絡したら待たがかかったんです。
『この施設では胃ろうは対応できないので受け入れできません。』と言われました。
どうして戻れないのか、この場で答えて下さい!」

(施)「胃ろうは医療行為なので特養で行う事はできない事をご理解下さい。」

(山)「主治医からは“胃ろうは胃から摂る食事”と言われました。
私達にとってこの施設は終の棲家なんです。プロらしい対応を考えて下さい。」

施設側は山田様のご意見を真摯に受け止め、行政・医師会・等関係各機関と協議し、
全国で初めての“特養における医療指針”を作り、全国のモデルとなりました。
その後、山田様は法人の評議員をされながら、特養での医療の必要性等をマスコミ等に
説教的に発信を続ける活動を行いました。あの時の山田様の勇気ある発言が
“介護職員の医療行為”の固い扉を開いた要因の一つである事は確実。
今、山田様は3番街1丁目で体調を気遣いながらも穏やかな生活を送られています。



編集後記

今年も暑い夏がやって来ました。水分や休息をこまめにとって熱中症に気を付けていきましょう。